

米沢女短大 榎 光章
○佐藤 幸夫

1. フキの茎葉の一般化学成分についての定量結果の報告は少々見られるのであるが、炭水化物の構成状態については全然なされていない。そこでこれらを解明する目的で次のような実験をした。

2. フキの茎葉を採集して乾燥粉末となし試料として使用した。溶媒として80%エタノール、熱水、0.5%蓚酸アンモニウム、5%苛性ソーダ、20%苛性ソーダ、5%硫酸を用いそれぞれに対する溶解度の差を利用して炭水化物の分別を試みた。

3. エタノール可溶性区分からはグルコース、フラクトース、熱水可溶性区分からはガラクトース、ガラクチュロン酸、グルコース、アラビノース、キシロース、蓚酸アンモニウム抽出区分からはガラクチュロン酸、ガラクトース、アラビノース、5%苛性ソーダ抽出区分からはグルクロン酸、グルコース、キシロース、20%苛性ソ

ーダ抽出区分の醋酸中和沈澱及び非沈澱区分からはグルクロン酸, グルコース, フラクトース, キシロース, 熱5%硫酸抽出区分よりはグルコースを検出し, それぞれの構成状態を究明した。